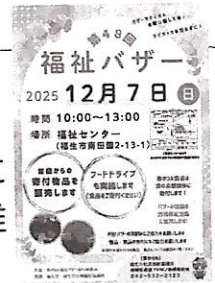


事業予告

第48回 福祉バザー



昨年に引き続き、恒例の「福祉バザー」を今年も開催します。
市民の皆さんから寄せられた衣料品、日用品、雑貨等の販売のほか、福祉団体による模擬店も出店し賑やかに開催します。なお、バザー収益金は地域福祉活動の推進等に活用させていただきます。前回に引き続き食品の寄付も受け付けております。いただいた食品は配布会やこども食堂を実施する団体に寄付いたします。皆様のご理解とご協力をお願いします。

※今回も陶器、ガラス器、家具類、家電の販売は行いませんのでご了承ください。

日 時 12月7日(日) 午前10時～午後1時終了予定
場 所 福祉センター
主 催 第48回福祉バザー実行委員会
問合せ ふっさボランティア・市民活動センター ☎552-2122
(土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時15分の間)



昨年のバザーの様子

寄付物品のお願い

《食品以外》ご家庭や商店(スーパー、会社等含む)に寄付をお願いしたい物品は「衣類・寝具・タオル類・日用雑貨・履物・石鹸・洗剤類・台所用品」等です。※原則として未使用の物品
《食品》フードドライブを実施し、統一搬入日及びバザー当日に受け付けます。
※回収対象品目はwebサイトで [福祉市 フードドライブ](#) と検索をし、確認してください。
《統一搬入日》11月30日(日) 午前9時から午後3時までの間に福祉センターへお持ちください。

防災講座「みんなの防災講座」

“防災は特別じゃない。暮らしに根ざす、当たり前。”

近年、各地で災害が相次ぐ中、地域に暮らす一人ひとりが「自助」や「共助」の視点を持ち、避難所の運営など、実際に役立つ知識や行動力を身につけておくことが大切になっています。今回の講座では、能登半島地震の支援に携わっている団体「ピースウィンズ・ジャパン」の活動を通じて、災害時に地域の人たちが果たす役割や、日頃からできる備えについて、事例を交えながら学んでいきます。



【日 時】10月28日(火) 午後2時から4時

【場 所】福祉センター 2階学習集會室

【対 象】市内在住・在勤・在学の方・小地域福祉活動スタッフの方・防災に関心のある方

【定 員】先着50名 参加費無料

【講 師】橋本 笙子 氏 (特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 国内事業部 次長)

【申込み】9月18日(木)より受付中。ふっさボランティア・市民活動センターに電話

・メール(2次元コード)・ファクス・直接窓口へ

事業予告

ボランティア養成講座～縁起物制作～

すっかり定番のボランティア養成講座となり、毎回ご好評いただいている縁起物制作を今年も開催します！今回は『しめ縄』を制作し、1つは寄付し、1つはお持ち帰りいただけます。ボランティアを始めるきっかけに、ぜひご参加ください。

【日 時】第1回 12月11日（木） 午後1時30分～3時30分

第2回 12月12日（金） 午後1時30分～3時30分

【定 員】各回先着15名

【会 場】福祉センター 2階学習集会室 【持ち物】ハサミ

【対 象】市内在住・在勤・在学の方優先で、ボランティア活動に関心があり、
過去に縁起物制作のボランティア講座を受けたことがない方（初受講の方のみ）

【申込み】11月19日（水）午前8時30分～（受付は窓口・電話のみ）

FVACへ ☎042-552-2122（土日・祝日を除く午前8時30分～午後5時15分）



昨年の『しめ縄』

事業報告

2025夏！体験ボランティア

「夏！体験ボランティア」事業は、子どもからシニアまで、全ての方にボランティア活動を知ってもらうきっかけを用意する事業です。

今年は小学生・中学生の参加が昨年よりも増えた事や、「夏！体験ボランティア」だけに留まらず、今後も通年でボランティアを続けたいとアンケートで回答があるなど、ボランティアへの裾野が広がっている事を感じました。

活動先からも感謝の言葉をいただいたり、写真等からも参加者が積極的に活動している様子が見受けられ、やりがいをもって参加されている様子がうかがえました。

今後も必要とされるニーズへのアプローチや実施可能な活動の機会を作ってまいります。

「夏！体験ボランティア」を通して、多様な人との出会い・地域とのつながり・社会参加のきっかけに繋がれば幸いです。

【参加人数集計結果】

（単位：人）

	小学生	中学生	高校生	大学生	日本語学校	一般	合計
計	80	60	20	4	5	9	178



沢山のご参加ありがとうございました！



小地域福祉活動報告

福祉地区の活動範囲はおおむね一町会・自治会の地域とします。地域の中で見守りが必要な人への“見守り活動”や、気軽に集まり交流を深め楽しむ“ふれあい・いきいきサロン”などがあります。

9月9日(火) 福東福祉地区 (ハレルヤ)

大正琴の音色にのせて、心も体もほぐれるひととき

9月9日(火)福東小地域のサロン活動にて、地域でご活躍の大正琴の演奏グループの皆さんをお招きし、素敵な演奏を披露いただきました。

「川の流れるように」など懐かしい名曲を披露いただきました。演奏に合わせて社協職員による体操も行われ、参加者の皆さんは音楽に包まれながら楽しく体を動かしました。音楽と体操が一体となったひとときに、会場は笑顔と温かさに包まれました。



9月10日(水) 鍋二福祉地区 (むぎの会)

笑顔ひろがる口元から～歯科衛生士さんと一緒に口腔体操～

9月10日、鍋二小地域のサロンで歯科衛生士さんによる「口腔体操」が行われました。「パ・タ・カ・ラ」と声を出しながら口を動かす体操や、ほほ・舌・唇を使ったエクササイズで、参加者の皆さんは楽しく口の筋肉をほぐしました。

口腔の健康は、食べる・話す・笑うなど日常の動作に欠かせません。体操を習慣にすることで、誤嚥予防や健康維持にもつながります。

笑顔あふれるひとときとなり、参加者からは「毎日続けたい」との声も。これからも、楽しく学べる場づくりを大切にしていきます。



事業報告

市民活動講座「活動資金ってどうやったら集められるの？」

8月30日(土)実施 参加者：5名

FVACの運営をする中で団体の方から、活動資金についてお話を伺う機会がたびたびあったため、東京ボランティア・市民活動センターの専門相談員の方をお呼びし、活動資金に関する講座を実施しました。

講座では、講師が自身の経験と多数の相談事例を基に、NPOの資金調達について解説がありました。

資金調達は単なるお金集めだけでなく、活動を広げ、支援者や仲間との「つながり作り」であり、団体の基盤強化に直結する。

多様な資金源の確保と、中間支援組織の活用、他団体の事例からの学びが得られる貴重な時間となりました。

災害ボランティアセンター設置・運営訓練

9月21日(日)、福生市社会福祉協議会主催による「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施しました。

受付・資機材管理・ニーズ調査などの各セクションに分かれ、実際の災害時を想定した実践的な運営を体験。後半には、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 橋本笙子氏による講演が行われ、能登半島地震での支援活動を通じた現場の課題や連携の重要性について学びました。ご協力いただいた関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。



FVACからのお知らせ

ふっさボランティアサポーター費お礼

★福生市民謡連盟

5,000円

ご協力ありがとうございました！

FVACでは、皆様が活動されるうえで必要な書類やチラシ・情報紙などを現在はい皆様からのサポーター会費や寄付金をいただくことで、モノクロ印刷代は無料でご利用いただいています。皆様からのサポーターとしてのご協力をお願いいたします。

サポーター費 1口 1,000円

書道ボランティア募集！！

個人ボランティアで施設の習字ボランティアをされている方より、一緒に活動を探しているとお話を頂いています。

活動してみたいお気持ちのある方は、是非FVACまでご連絡ください。



福生おもちゃ図書館チューリップ夏休みイベント報告

8月23日（土）福生おもちゃの図書館チューリップ夏休みイベントを行いました。

福生市福祉センター 地下教養娯楽室にて「マイバッグをつくろう！」を開催しました！

株式会社make様よりご提供いただいたコットンバッグと布用ペンを使って、みんなで世界に一つだけのマイバッグを楽しく作成しました☆可愛いバッグができあがりましたのでどうぞご覧ください！



子育てサロン情報

ほっとひろば白梅	第4金曜	通常開催
ぴよぴよらんど	第2木曜	通常開催
はとぼっぼ	第2金曜	通常開催 予約制
おもちゃの図書館	第2・4土曜	通常開催
おもちゃの修理屋	第2土曜	通常開催 10月11日はお休み

令和6年4月から保育室に児童発達支援センターを開設したため、おもちゃ図書館チューリップとおもちゃの修理屋さんの開催場所は地下の教養娯楽室となっております。



福生断酒新生会セミナー報告

FVAC登録団体、福生断酒新生会主催で当事者の気持ち、支援の現状の両面を聞くことができる貴重なセミナーを開催されました。

当事者のお二人からアルコール依存症になるきっかけと経過、お酒を飲み続ける心情について話され、治療に至るまでの壮絶なエピソードとアルコール依存症を克服しようとする治療への強い決意が聞かれました。

セミナーの後半では支援者側の話として、駒木野病院リハビリ総合応援部アルメック科長の玉城久江さんからアルコール依存症の基礎的知識の説明と患者さんとのやり取りを交えた治療のお話がありました。

アルコール依存症は本人の気持ちの弱さが要因だという偏見があるそうです。アルコール依存症は“病気”であり、自分が病気であることを受け入れることができない葛藤があります。治療のため必要な断酒は一人では続けることが難しそうです。この日は断酒を仲間と支える自主グループである“断酒会”の活動をする熱気あふれる素晴らしいセミナーとなりました。FVACは登録団体の活動を応援していきます！

お願い

FVACでは、文書のペーパーレス化を推進するとともに、印刷機のインク代や用紙代の高騰・昨年10月からの郵便料金の値上げを受け、情報紙『アクション』を今まで郵送でお知らせしていた団体には、メールで発行をお知らせする形に移行していきます。まだメールアドレスを連絡していない団体は、①団体名②お知らせメールを受け取る担当者③メールアドレスを、FVACまでメールでお知らせください。

ご協力よろしくお願いいたします。

メール：fvac@fussashakyo.or.jp

編集 社会福祉法人福生市社会福祉協議会
発行 ふっさボランティア・市民活動センター

〒197-0004 福生市南田園2-13-1 福祉センター内
TEL: 042-552-2122/FAX: 042-553-7532

「FVAC」は、ふっさボランティア・市民活動センターの略称です！

E-mail : fvac@fussashakyo.or.jp
ホームページ : https://fussashakyo.or.jp/fvac/